

(学校運営協議会・報告様式)

令和5年度 第6回 鈴鹿市立庄内小学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和6年2月13日 (火) 19:00～20:00

2 場 所 図書室

3 あいさつ (学校長)

○ (学校長)

- ・ 14日 (水) に「お礼の会」を行う。いろいろな形でお世話になった地域の皆様に感謝の気持ちを伝える会。
- ・ 21日 (水) には、6年生を送る会を予定している。
- ・ インフルエンザ B型が流行している。

4 協議

(1) 学校関係者評価について (意見・感想より)

皆様のご意見を受け、完成したものを教育委員会へ提出する。

○学力向上について

- ・ アンケートの数値にとらわれすぎてはいけませんが、原因の把握のために使う。先日も、みえスタディチェックの結果から分析・検討を行った。
- ・ 図書は、学校での読書の時間を大切にしていく。そのうえで、家庭での読書についても啓蒙を進めていく。

○ICT活用

- ・ クロームブックは、「みんなが使えるように」ということを念頭に置いて進めていく。
- ・ ICTが進んでも、学習規律は必要。
- ・ クラブで、LEGOブロックを使ったプログラミング学習に取り組んだ。
- ・ ネットモラル、健康などを考慮して使い方を教えていく。

○不登校対策

- ・ 不登校になってからの対応も大事だが、まずは未然防止に取り組んでいく
- ・ 三日休んだら、ということに拘らず必要に応じて家庭に連絡していく
- ・ 特定の曜日に休みが集中していないか、など気にして状態を把握していく。
- ・ 「9割がよいから大丈夫」ではなく、一人ひとりの気持ちを大切にしていく。

○地域連携

- ・ ご意見をいただく中で判断していく。
- ・ 中1ギャップの解消に向けて、単級交流会などの機会を設けている。1月には椿小との交流会を行った。
- ・ 稲刈り、あられ煎りなど、地域の方を講師に学んだ。

(2) 令和6年度の主な行事予定

- ・ 教頭より説明

(マラソン大会についてご意見)

- ・ 子どもは嫌がってはいるが、良い経験であり、あってもよいと思う。家でも自分から業間マラソンの話をしている姿もある。
- ・ ビデオを見て、応援してくれている人の姿を見てうれしさを感じていた。完走した喜び、達成感、自信などが得られる。
- ・ 昔は、敷地外のコースを走っていた。親の応援もなかった。卒園した子どもたちが、わざわざ結果を保育園に報告に来てくれた。

5 意見交流（一年間の感想）

- ・ 地域、小学校、PTA が会話できる会でよかった。学校の考えがよく理解できた。
- ・ 学校の先生たちが、教育、環境のことをしっかり考えてくれていることが分かった。また、地域の支えが身に染みてわかった。
- ・ 毎回活発な意見が出てよかった。運営協議会でできること、例えば庄内祭など、子どもたちに何かをしてあげたい。
- ・ 卒園児がたくさんいる学校で、行事などの時に成長した姿を見、かえって職員と話をするのが楽しみ。子どもたちが何かするとき、楽しいことがしてあげられればよいと思う。
- ・ 小学校に関わるのは久しぶりだったが、今の子を見ていろいろ驚いた。ついていけない子のことなど、地域で子どもたちのことをよく考えている。季節ごとに祭りをしているが、お年寄りがやさしく見守り、子どもは大人を身近に感じる温かさがある。
- ・ 学校の資料を見て、自分も支えられて育てられたんだなと感じることができた。

6 アドバイザーより

- ・ 一年間活発に意見を言っていた。「お礼の会」の会場を見て暖かさを感じた。少ない人数であれだけの準備をする気持ちは、出席する方々にも伝わる。ボランティアの人にとっても、気持ちが通じていた事が伝わる。
- ・ 先生たちと話をすることは今年実現してもらった。今後は、さらに協働型コミュニティスクールを目指していくとよい。
- ・ 協働型コミュニティスクールとは、学校と家庭と地域が同じ目標をもって、それぞれが違うことをしながら子どもたちを育てるということ。福岡の春日市立天神山小学校に良い実践がある。例えば、「たくましい体」を育てるという教育目標に学校は「5分間運動」で、家庭は「早寝早起き朝ごはん」で、地域は「安全安心」でなど、同じ目標に違う取り組みをしていく。庄内でもしていることだが、意識して取り組んでいけるとよい。